

研究論文

『種の起源』出版後の19世紀イギリス及びアメリカ社会
における進化思想の流布について

園井千音*, 平田耕一†

On the Popularity of Evolutionary Thought in the Nineteenth Century English and
American Society after the Publication of *The Origin of Species*

Chine SONOI, Kouichi HIRATA

In this paper, we examine the relationship between the circulation of evolutionary thought among readers and the works by Henry Drummond, Benjamin Kidd and Arthur James Balfour in the late nineteenth century English and American society, particularly after the publication of Charles Darwin's *The Origin of Species*. These three writers and their books that seemed to have influenced the development of Darwin's evolutionary theory were popular among readers in general in the late 19th century. In particular, we investigate the criticism on books in *The Bookman's* and the *Review of Reviews* from 1890s to 1910s that were associated with evolutionary theories to analyse the nature of the prevalence of the 19th century scientific philosophy.

Key words: evolution thought, *The Origin of Species*, Henry Drummond, Benjamin Kidd, Arthur James Balfour

1. はじめに

1859年に出版されたCharles Darwinの*The Origin of Species* (『種の起源』)の出版部数は、初版(1859年)から第5版(1869年)の10年間で9,750部、第6版(1875年)までの17年間の総計でも17,500部に過ぎないことが知られている¹。

一方、*The Origin of Species*以前の進化思想の流布には、1833年から1836年に出版された*The Bridge-water Treatises* (『ブリッジウォーター論集』)、および、1844年に出版されたRobert Chambersの*Vestiges of the Natural History of Creation* (『創造の自然史の

痕跡』)が大きく影響したことが知られている²。このうち、*Treatises*は、1850年までの6年間に総計で60,000部以上出版され、雑誌の書評欄にもこぞって取り上げられた³。*Vestiges*は、1844年の初版以来、版を重ね、1853年6月の第10版までに9年間で合計で21,250部が出版され、1860年12月には、さらに第11版2,500部が出版された⁴。また、*The Origin of Species*と同時期の1860年に出版された7名の執筆者による*Essays and Reviews* (『論文と評論』)は、1861年のSamuel Wilberforceの書評の後、急に読者の関心が高まり、1860年に3,000部、1861年前半に13,000部、出版から3年間の1862年第11版で合計20,000部、1869年の第13版までに24,250部出版された⁵。

参考までに、当時の書籍全般の出版部数との比較と

平成28年12月22日受理

* 大分大学工学部

† 九州工業大学大学院情報工学研究院

して、Charles Dickens の小説 *Little Dorrit* (1855) が最初の1年間で35,000部、Charles Kingsley の小説 *Westward Ho!* (1855) は最初の2年間で8,000部、Thomas Hughes の小説 *Tom Brown's School Days* (1857) が6年間で28,000部、Samuel Smiles の *Self-Help* (1859) が1年間で20,000部、George Eliot の小説 *The Mill on the Floss* (1860) が3か月で6,000部出版された⁶。また、当時のノンフィクションのベストセラーである Florence Nightingale の *Notes on Nursing* (『看護覚え書き』) は、1859年の初版が15,000部以上、1860年の第2版(短縮版)が2,000部出版され、1868年の第3版が、1876年、1883年、1885年に各63,000部、1888年に66,000部、1890年に68,000部、1892年に70,000部、1894年に72,000部、1898年に74,000部出版された⁷。このように *The Origin of Species* の出版部数は、当時の出版書籍として、小説だけではなく、ノンフィクションとしても必ずしも多くないことが分かる。

本稿では、*The Origin of Species* 出版後の19世紀における進化思想の流布に着目する。この時期、Thomas Huxley、Joseph Hooker、George Mivart、Herbert Spencer などの Darwin の考えの直接的な擁護や批判を通じた進化思想やダーウィニズムの変遷についての書籍は数多く出版されている⁸。進化思想に対する宗教的もしくは政治的擁護賛否論に対する批評は数多くある一方、一般読者に対する進化論の思想的インパクトを与えた出版物や著者についての批判研究はイギリス国内外においても多くない。そこで本稿では、進化思想の一般読者間における流布に影響を与えた人物という観点から、Henry Drummond (1851–1897)、Benjamin Kidd (1858–1916)、Arthur James Balfour (1848–1930) の3名に焦点を当て分析する。

進化思想という立場では、Richard Hofstadter は特にアメリカにおける「社会ダーウィニズム」(“Social Darwinism”) への影響という点で Drummond と Kidd に着目し⁹、James R. Moore は Drummond と Balfour に着目していた¹⁰。最近では、Bernard Lightman¹¹ が、Drummond と Kidd による進化思想の流布についての研究を進めている。ただ、この研究での影響(本の売れ行き)は、Drummond の影響については Moore の研究¹² を、Kidd の影響については David Paul Crook による Kidd の伝記¹³ を参照している。

一方、Hugh Mortimer Cecil は、Drummond の *The Ascent of Man*、Kidd の *Social Evolution*、Balfour の *The Foundations of Belief* という3著書が、当時、科学界以外で、イギリス及びアメリカで文学的なセンセーションを産み出したと指摘している¹⁴。その中で、3名を非合理主義者3人組、これら3著書には本質的に新しいことは何も書かれていない¹⁵、など、3著書を糾弾した。このような否定的な本が出版される一方で、Goldwin Smith¹⁶ のように3著書に肯定的な著作も出版されていることを考えると、当時、この3著書は、一般読書の興味を喚起していたことが推測される。

そこで本稿では、上記分析では検証が十分になされていない3著書の売れ行きについても資料を追加しつつ、当時のイギリス及びアメリカの一般読者の受容という観点から Drummond、Kidd、Balfour による進化思想の影響を考察する。また、雑誌や本を書評した月刊誌である1890年創刊の *Review of Reviews* において、Drummond、Kidd、Balfour がどのように着目されていたかについて考察する。

2. Henry Drummond, Benjamin Kidd, Arthur James Balfour とその著作

Henry Drummond は1851年8月にスコットランドの Stirling で生まれた福音派 (“Evangelist”) である。エジンバラ大学を卒業した後、自由教会 (“Free Church”) の聖職者となるためにエジンバラの New Collage に入り、1877年にグラスゴーの自由教会大学 (“Free Church College”) の自然科学の教授職に就く。1883年には *Natural Law in the Spiritual World* を出版し、また、1883年から34年には中央アフリカを訪問し、1888年に *Tropical Africa* を出版し、1894年に *The Ascent of Man* を出版した¹⁷。その後、健康を損ね、1897年3月に死去した。図1は、Drummond の主な著作と生前の出版数である¹⁸。

Benjamin Kidd は1858年にアイルランドの County Clare で生まれた社会学者である。1877年から内国歳入庁 (“Inland Revenue”) の事務員として働き始める。1894年に出版した *Social Evolution* の成功により、仕事を辞め、1898年から1902年にかけて、アメリカ、カナダ、アフリカを訪問する。以後は1916年10月の死去まで、主に社会ダーウィニズムに関する書籍を出

版した。図2は、Kiddの主な著作である¹⁹。

Arthur James Balfourは1848年7月にスコットランドのWhittingehameに生まれ、ケンブリッジ大学で哲学を学んだ後、1874年に保守党の庶民院議員に初当選した後、保守党を指導し、1902年7月から1905年12月までイギリスの首相を務めた政治家であり、1930年3月に死去した。本稿では特に、哲学・思想の著作者としてのBalfourに着目する。図3はそのようなBalfourの著作である²⁰。

<i>Natural Law in the Spiritual World</i> (1883)	119,000部
<i>Tropical Africa</i> (1888)	
<i>The Greatest Thing in the World</i> (1889)	330,000部
<i>Pax Voiscum</i> (1890)	130,000部
<i>The Programme of Christianity</i> (1891)	80,000部
<i>The City without a Church</i> (1892)	60,000部
<i>The Changed Life</i> (1893)	89,000部
<i>The Ascent of Man</i> (1894)	

Fig. 1: The main writings of Drummond.

<i>Social Evolution</i> (1894)
<i>Control of the Tropics</i> (1898)
<i>Principles of Western Civilisation</i> (1902)
<i>Individualism and After</i> (1908)
<i>The Principal Law of Sociology</i> (1909)
<i>The Science of Power</i> (1918)
<i>A Philosopher with Nature</i> (1921)

Fig. 2: The main writings of Kidd.

<i>Defence of Philosophic Doubt</i> (1879)
<i>The Foundations of Belief</i> (1895)
<i>A Fragment on Progress</i> (1908)
<i>Decadance</i> (1908)
<i>Beauty and the Critisms of Beauty</i> (1909)
<i>Theism and Humanism</i> (1915)
<i>Theism and Thought</i> (1923)

Fig. 3: The main writings of Balfour.

3. 19世紀後半イギリス及びアメリカ社会における進化思想の流布

Drummondの*Natural Law in the Spiritual World* (1883)は、イギリスで1883年から1か月で1,000部ずつ、1888年までの5年間で70,000部、著者が亡くなる前の1897年までに119,000部出版され、1900年に出版された縮小版も含めると現在までにイギリスだけで123,000部以上出版されている²¹。また、*The Ascent of Man* (1894)は、イギリスで出版年の1894年には10,000部出版され、1902年までに30,000部出版されている²²。Drummondの著書のうち最も有名なものは*The Greatest Thing in the World* (1890)であり、イギリスで出版後6か月で185,000部、7年間で330,000部以上出版され、現在も出版されている²³。

Kiddの*Social Evolution* (1894)は、イギリスでは出版後半年で3,322部出版され、1895年には10,823部出版された。この本はアメリカでの売り上げが多く、1894年は709部出版されたが、1894年7月から1895年6月までの1年間で18,958部出版された。さらにこの本は、アラビア語と中国語を含む、少なくとも10か国語に訳されて出版された²⁴。また、*The Science of Power* (1918)は第9版までに23,500部出版され、1920年には7,500部出版された²⁵。

Balfourの*The Foundations of Belief* (1895)は、イギリスのロンドンだけで出版後2か月で9,000部以上出版された²⁶。またこの本は、フランス語、ドイツ語、イタリア語に訳されて出版された²⁷。

このように、本の出版部数の観点からは、Darwinの*The Origin of Species*のイギリスにおける1859年から1875年の17年間にわたる出版部数17,500部と比較すると、Drummondの*The Ascent of Man*、Kiddの*Social Evolution*、Balfourの*Foundations of Belief*の3著書は、イギリス及びアメリカ社会においてより多くの読者に受け入れられていたことが明確である。

Troy J. BassettとChristina M. Walterは、1891年から1906年の*The Bookman* (London)の情報を基に、本の出版部数を通して、当時のイギリスにおけるベストセラーについて言及している²⁸。*The Bookman*では、それぞれの地域での売り上げ上位6位の書籍リストを“Sales of Books During the Month”として月毎に掲載

している。図4は、Bassett と Walter の研究成果の中から、Drummond、Kidd、Balfour の著作に着目して抜粋した *The Bookman* (London) の “Sales of Books During the Month” に掲載されていたリスト数と期間である²⁹。さらに、Kidd の *Social Evolution* は *Bookman* (London) の 1894 年の “Monthly Report of the Wholesale Book Trade” においてリスト数が8で第4位となっている³⁰。

年	順位	著書	リスト数 (期間)
1891	4 位	Drummond, <i>Programme of Christianity</i>	5 (2 か月)
1894	2 位	Drummond, <i>The Ascent of Man</i>	27 (8 か月)
	4 位	Kidd, <i>Social Evolution</i>	23 (11 か月)
1895	3 位	Balfour, <i>The Foundations of Belief</i>	30 (7 か月)
	6 位	Kidd, <i>Social Evolution</i>	19 (7 か月)

Fig. 4: The number of lists in “Sales of Books During the Month” in *The Bookman* (London) for the writings of Drummond, Kidd and Balfour.

図5は、本稿で新たに作成した、Drummond の *The Ascent of Man*、Kidd の *Social Evolution*、Balfour の *The Foundations of Belief* の3著書に対する1895年の *The Bookman* (New York)²⁸ の “Sales of Books During the Month” に掲載されていたリスト数と期間である³¹。

著書	リスト数 (期間)
Drummond, <i>The Ascent of Man</i>	2 (1 か月)
Kidd, <i>Social Evolution</i>	31 (7 か月)
Balfour, <i>The Foundations of Belief</i>	15 (4 か月)

Fig. 5: The number of lists in “Sales of Books During the Month” at 1895 in *The Bookman* (New York) for the three books.

図4と図5より、イギリス及びアメリカにおいて *The Ascent of Man* と *The Foundations of Belief* は比較的短期間で非常に売れたのに対して、*Social Evolution* は長期間に渡って売れていたことが分かる。

Bassett と Walter は、当時のイギリスにおけるノンフィクションの書籍では宗教、社会学、回顧録、伝記が流行しており、その中でこれら3著書は重要な宗教的著書であること、特に Kidd の *Social Evolution* は宗

教と進化の関係に対する一般読者の興味の高さを表している、と指摘している³²。さらに、図5のリストからは、そのことがイギリスだけではなくアメリカの読者にも当てはまることが分かる。したがって、進化思想の内容に踏み込んだ現在の生物学や哲学の研究ではほとんど言及されていないが、これら3著書は、当時、一般にも広く読まれていたことが推測できる。

4. *Review of Reviews* における進化思想関連論文に関する批評

Review of Reviews は、1890年にWilliam Thomas Stead と George Newnes によってイギリスで創刊された雑誌や本を書評した月刊誌であり、創刊年の1890年には300,000部が発行された³³。そして、Stead が1912年のタイタニック号の沈没による没後、1917年まで出版が続いた³⁴。

Jonathan Rose は、1900年頃の労働者階級の読書傾向の調査として、*Review of Reviews* 第33巻(1906)における “The Labour Party and the Books that Helped to Make It”³⁵ という記事に着目した³⁶。この記事では、当時の庶民院の労働党議員51名に、彼らが影響を受けた著者や著書について質問し、45名の議員からの回答を掲載している。Rose は、その中で多くの議員が選出した著者とそれを回答した議員数を図6のようにまとめている³⁷。

議員数	著者
17	John Ruskin
16	Charles Dickens
14	The Bible
13	Thomas Carlyle
12	Henry George
11	Walter Scott
10	John Stuart Mill
9	William Shakespeare
8	Robert Burns, John Bunyan
6	Alfred Load Tennyson, Giuseppe Mazzini
5	Charles Kingsley, T. B. Macaulay, James Russell Lowell
4	Adam Smith, William Cobbett, Sidney and Beatrice Webb, W. M. Trackera, J. R. Green, Charles Darwin, Henry Drummond

Fig. 6: The answers in “The Labour Party and the Books that Helped to Make It.”

図 6 では、Darwin を選出した労働党議員と同数の 4 名が Drummond を選出しており、そのうち 3 名が *Natural Law in the Spiritual World* を、2 名が *The Ascent of Man* を影響を受けた著書として挙げている。また、Rose は指摘していないが、この回答の中で 3 名の議員が Kidd を選出しており、そのうち 2 名が *Social Evolution* を影響を受けた著書として挙げている。なお、Drummond と Kidd を同時に選出した議員は 1 名のみである³⁸。一方、Balfour はここには一切名前が出て来ないが、それは、本調査の対象が労働党議員なので、保守党議員であった Balfour が選出されなかったことはある意味当然と考えることができる。

さらに、*Reveiw of Reviews* には、Drummond、Kidd、Balfour に関する批評も多い。図 7, 8, 9 は、*Review of Reviews* に掲載された、Drummond、Kidd、Balfour に関する批評とその掲載情報をまとめたものである³⁹。

題目	巻	年	ページ
“The Secret of Managing Street Boys.” By Professor Drummond	3	1891	155
“How to Make Boys Monthly”	9	1894	98
“Professor Henry Drummond’s Plea”	9	1894	308
“The Book of the Month. The Love Story of the World.” By Professor Henry Drummond	9	1894	629–31
“Mr. Kidd’s Critism of the ‘The Ascent of Man’ ”	10	1894	35
“The Riddle of Existece.” By Professor Goldwin Smith	12	1895	234
“The Late Professor Drummond”	15	1897	601–2
“The Late Henry Drummond”	16	1897	60
“Drawing-Room Evangelism”	31	1905	67

Fig. 7: The criticisms of Drummond in *Review of Reviews*.

Drummond と Kidd に関しては、図 7 と 8 に指摘した直接的な批評だけではなく、名前や著書の引用も広範囲に渡っている。特に、Drummond に関しては、1894 年の *The Ascent of Man* 出版以降は、その著者としての引用数が非常に多く、注目されていたことが分かる。一方、没後の 1897 年以降は引用が少なくなっている。

一方、Balfour の場合、*Review and Reviews* へは政治的な引用が非常に多く、特に、1895 年に第 3 次の

題目	巻	年	ページ
“Our Scientific Causerie. Darwin’s Successor at Home”	2	1890	647–50
“Our Monthly Parcel of Books”	9	1894	522–6
“Mr. Kidd and Social Evolution.” By Load Farrer, Professor Drummond, and Others	9	1894	588–9
“The New Books. 1. Our London Letter about Books”	9	1894	745–7
“Mr. Kidd’s Critism of the ‘The Ascent of Man’ ”	10	1894	35
“Is Biology Against Socialism? Mr. Karl Pearson’s reply to Mr. Kidd”	10	1894	39
“Religion and Human Evolution.” By Frances Galton	10	1894	170
“Mr. Kidd Overhauled.” By Professor Henry Sidgwick	10	1894	557
“ ‘Social Evolution.’ Mr. Kidd Replies to His Critics”	11	1894	144
“One of the Notable Books of the Age-End. Some Account of Mr. Benjamin Kidd’s ‘Social Evolution’ ”	11	1895	472–3
“The Riddle of Existece.” By Professor Goldwin Smith	12	1895	234
“The Principle of Western Civilisation.” By Benjamin Kidd	25	1902	299–301
“Mr. Benjamin Kidd’s Book. Some Hostile Critism”	25	1902	384
“Mr. Kidd’s Casuistry”	28	1903	42
“What to Eat, Drink, and Aviod. Mr. Benjamin Kidd, Born 1858”	37	1908	239

Fig. 8: The criticisms of Kidd in *Review of Reviews*.

Salisbury 内閣でアイルランド担当大臣となって以降は、ほぼ毎号にアイルランド政策に関する批評が掲載されている。そこで図 9 の Balfour に関する批評は、そのような政治的なものを除いて、かつ第 14 巻 (1896) までに限ったものを挙げている。

特に、第 11 巻における *The Foundations of Belief* の批評は、Stead が書いたものが 12 ページ、“Mr. Balfour’s ‘Foundations.’ ” という表題のものが 4 ページの合計 16 ページに渡っており、労働党議員の間においてもかなり注目されていたことが分かる。また、これら 3 著作を取り上げた Smith による *The Riddle of Ex-*

istence⁴⁰ についての批評も *Review of Reviews* に掲載されている。

題目	巻	年	ページ
"Mr. Balfour as Critic of Idealism"	8	1893	612
"Mr. Balfour as Critic of Idealism"	9	1894	93-4
"What Is Man That Thou Art Mindful of Him? The Answer." By Mr. Balfour	10	1894	43
"Secularist's Study of Mr. Balfour"	10	1894	44
"The Foundations of Belief." By W. T. Stead	11	1895	429-40
"Mr. Balfour's 'Foundations.' "	11	1895	587-90
"The Riddle of Existence." By Professor Goldwin Smith	12	1895	234
"Mr. Balfour among the Brahmins"	12	1895	427-8
"An American Estimate of Mr. Balfour"	12	1895	512
"The Homes of Mr. Balfour and Sir William Harcourt. Whittingham and Malwood."	14	1896	218-20

Fig. 9: The criticisms of Balfour in *Review of Reviews*.

このように、*Review of Reviews* における批評という観点からも、Drummond、Kidd、Balfour の影響、特に、*The Ascent of Man*、*Social Evolution*、*The Foundations of Belief* の3著書の影響は、労働党議員という知的労働者階級である読者層においても大きかったと考えられる。

5. おわりに

本稿では、Drummond の *The Ascent of Man*、Kidd の *Social Evolution*、Balfour の *The Foundations of Belief* の3著書を中心に、Darwin の *The Origin of Species* 出版以後の進化思想のイギリス及びアメリカにおける流布について、出版部数という観点及び *Review of Reviews* における表出頻度から分析した。

今後の課題としては、これら3著書の社会的・哲学的意義、特に科学と宗教の結び付きに関する考察、Cecil⁴¹ や Smith⁴² の批評に関する分析を通じた進化思想の流布への寄与についての考察である。

さらにアメリカにおける進化思想の流布という観点からは、Drummond の学位を指導した John Fiske (1842-1901)、*International Scientific Series* や *Popular Science Monthly* を発刊し、Huxley や Spencer とともに親

交があった Edward Livingston Youmans (1821-1887) という2名のアメリカ人も、進化思想の流布に重要な人物として挙げることができる。この両名についても Hofstadter⁴³ や Lightman⁴⁴ が既に紹介しているが、彼らの著作及び研究の進化思想の流布への影響に関する考察も発展研究する予定である。

謝辞

本研究は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 26370281 の補助を受けている。

註

- 1 松永俊男, 『ダーウィンの時代-科学と宗教-』, 名古屋: 名古屋大学出版会, 1996, p.255, p.308; 松永俊男, 『ダーウィン前夜の進化論争』, 名古屋: 名古屋大学出版会, 2005, p.88; V. Shea and W. Whitla (eds.), *Essays and Reviews: The 1860 Text and Its Reading*, Charlottesville: The University Press of Virginia, 2000, p.26, p.618.
- 2 P. J. Bowler, *Evolution: The History of an Idea*, Berkeley: The University of California Press, 1984 (鈴木善次ほか訳, 『進化思想の歴史』, 朝日選書 336, 朝日新聞社, 1987); P. J. Bowler, *The Non-Darwinian Revolution - Reinterpreting a Historical Myth*, Baltimore: The John Hopkins University Press, 1988 (松永俊男訳, 『ダーウィン革命の神話』, 朝日新聞社, 1992); A. Ellegård, *Darwin and the General Reader: The Reception of Darwin's Theory of Evolution in the British Periodical Press, 1859-1872*, Chicago and London: The University of Chicago Press, 1990; 松永俊男, 『ダーウィンの時代』; 松永俊男, 『ダーウィン前夜の進化論争』; J. A. Secord, *Victorian Sensation*, Chicago and London: The University of Chicago Press, 2000.
- 3 松永俊男, 『ダーウィンの時代』, p.137; J. Topham, *Science and Popular Education in the 1830s: The Role of the Bridgewater Treatises*, in *The British Journal for the History of Science*, 25 (1992), pp.397-430.
- 4 R. D. Altick, *The English Common Reader: A Social History of the Mass Reading Public, 1800-1900* (2nd Edition), Columbus: Ohio State University Press, 1959, p.205; 松永俊男, 『ダーウィンの時代』, p.255; 松永俊男, 『ダーウィン前夜の進化論争』, pp.71-3, pp.87-8; J. A. Secord, *Victorian Sensation*, p.131.
- 5 I. Ellis, *Seven Against Christ: A Study of 'Essays and Review'*, Leiden: Brill, 1980, pp.116-7, p.124, p.200; 松永俊男, 『ダーウィンの時代』, p.308; V. Shea and W. Whitla (eds.), *Essays and Reviews*, p.22, pp.618-26.
- 6 V. Shea and W. Whitla (eds.), *Essays and Reviews*, pp.25-6.
- 7 V. Skretkovicz (ed.), *Florence Nightingale's Notes on Nursing and Notes on Nursing for the Labouring Classes*, New York: Springer, 2010, p.5, pp.7-8.
- 8 例えば P. J. Bowler, *Evolution; The Non-Darwinian Revolution*.
- 9 R. Hofstadter, *Social Darwinism in American Thought*, Boston: Beacon Press, 1944, pp.96-103.
- 10 J. R. Moore, *The Post-Darwinian Controversies*, Cambridge: Cambridge University Press, 1979, p.67, p.224, p.227.
- 11 B. Lightman, *Darwin and the Popularization of Evolution*, in *Notes and Records of the Royal Society*, 64 (2009), pp.5-24; B. Lightman, *The Popularization of Evolution and Victorian Culture*, in B. Lightman and B. Zon (eds.), *Evolution and Victorian Culture*, Cambridge: Cambridge University Press, 2014, 286-311.
- 12 J. R. Moore, *Evangelicals and Evolution: Henry Drummond, Herbert Spencer, and the Naturalisation of the Spiritual World*, in *Scot-*

- ish Journal of Theology, 38 (1985), pp.383-417.
- 13 D. P. Crook, *Benjamin Kidd: Portrait of a Social Darwinist*, Cambridge: Cambridge University Press, 1984.
 - 14 H. M. Cecil, *Pseudo-Philosophy at the End of the Neenteenth Century*, London: The University Press, 1897, p.1.
 - 15 H. M. Cecil, *Pseudo-Philosophy*, p.3.
 - 16 G. Smith, *Guesses at the Riddle of Existence*, in G. Smith, *Guesses at the Riddle of Existence and Other Essays on Kindred Subjects*, New York: The Macmillian Company, 1897, pp.3-45.
 - 17 このタイトルは Darwin の *The Descent of Man* (1871) を意識したものである。
 - 18 C. Lennox, *The Practical Life Work of Henry Drummond*, New York: James Pott & Company, 1901, p.73, pp.147-8.
 - 19 D. P. Crook, *Benjamin Kidd*, p.439.
 - 20 E. L. Rasor, *Arthur James Balfour, 1848-1930: Historiography and Annotated Bibliography*, Westport: Greenwood Press, 1998, p.19.
 - 21 R. D. Altick, *Nineteenth-Century English Best-Sellers: A Third List*, in *Studies in Bibliography*, 39 (1986), p.241; C. Lennox, *The Practical Life Work of Henry Drummond*, p.73; J. R. Moore, *Evangelicals and Evolution*, pp.385-6; G. A. Smith, *The Life of Henry Drummond*, New York: McClure Phillips Co., 1901, pp.228-9.
 - 22 J. R. Moore, *Evangelicals and Evolution*, p.386.
 - 23 C. Lennox, *The Practical Life Work of Henry Drummond*, p.147; J. R. Moore, *Evangelicals and Evolution*, pp.385-6.
 - 24 D. P. Crook, *Benjamin Kidd*, pp.53-4.
 - 25 D. P. Crook, *Benjamin Kidd*, p.361.
 - 26 *The Publishers' Weekly: American Book-Trade Journal*, 47 (1895), p.691.
 - 27 E. L. Rasor, *Arthur James Balfour, 1848-1930*, p.19.
 - 28 T. J. Bassett and C. M. Walter, *Booksellers and Bestsellers - British Book Sales as Documented by The Bookman, 1891-1906*, in *Book History*, 4 (2001), pp.205-36.
 - 29 T. J. Bassett and C. M. Walter, *Booksellers and Bestsellers*, pp.227-8.
 - 30 T. J. Bassett and C. M. Walter, *Booksellers and Bestsellers*, p.230.
 - 31 *The Bookman* (New York), 1895-6, Vol.I, pp.64-5, pp.136-7, pp.208-9, pp.283-5, pp.358-60, pp.430-2; Vol.II, pp.75-80, pp.163-8, pp.247-54, pp.356-7, pp.451-2, pp.546-8.
 - 32 T. J. Bassett and C. M. Walter, *Booksellers and Bestsellers*, p.208.
 - 33 R. D. Altick, *The English Common Reader*, p.396.
 - 34 O. Mulpetre, *W. T. Stead and New Journalism*, Master Thesis, University of Teesside, 2010.
 - 35 "The Labour Party and the Books that Helped to Make It," in *Review of Reviews*, 33 (1906), pp.568-82.
 - 36 J. Rose, *Rereading the English Common Reader: A Preface to a History of Audiences*, in *Journal of the History of Ideas*, 53 (1992), pp.47-70.
 - 37 J. Rose, *Rereading the English Common Reader*, p.56.
 - 38 "The Labour Party and the Books that Helped to Make It," pp.578-9, p.581.
 - 39 Internet Archive の電子ファイルを参照。なお、全 37 巻中、17、20、21、29、34、35 巻の電子ファイルは欠落しているが、Science in the Nineteenth-Century Periodical (<http://www.hrionline.ac.uk/sciper/index.html>) の検索でもこれ以上は見つからなかった。
 - 40 G. Smith, *Guesses at the Riddle of Existence*.
 - 41 H. M. Cecil, *Pseudo-Philosophy*.
 - 42 G. A. Smith, *Guesses at the Riddle of Existence*.
 - 43 R. Hofstadter, *Social Darwinism in American Thought*.
 - 44 B. Lightman, *The International Scientific Series and the Communication of Darwinism*, in *Journal of Cambridge Studies* 5, 2010, pp.27-38; B. Lightman, *Spencer's American Disciples: Fiske, Youmanns, and the Appropriation of the System*, in B. Lightman

(ed.), *Global Spencerism: The Communication and Appropriation of a British Evolutionist*, Leiden: Brill, 2015, pp.123-148.

参考文献

- Altick, Richard D., *The English Common Reader: A Social History of the Mass Reading Public, 1800-1900* (2nd Edition), Columbus: Ohio State University Press, 1959.
- , *Nineteenth-Century English Best-Sellers: A Third List*, in *Studies in Bibliography*, 39 (1986), pp.235-241.
- Bassett, Troy J. and Walter, Christina M., *Booksellers and Bestsellers - British Book Sales as Documented by The Bookman, 1891-1906*, in *Book History*, 4 (2001), pp.205-236.
- Bowler, Peter J., *Evolution: The History of an Idea*, Berkeley: The University of California Press, 1984. (鈴木善次ほか訳, 『進化思想の歴史(下)』, 朝日選書 336, 東京: 朝日新聞社, 1987.)
- , *The Non-Darwinian Revolution - Reinterpreting a Historical Myth*, Baltimore: The John Hopkins University Press, 1988. (松永俊男訳, 『ダーウィン革命の神話』, 東京: 朝日新聞社, 1992.)
- Cecil, Hugh Mortimer, *Pseudo-Philosophy at the End of the Neenteenth Century*, London: The University Press, 1897.
- Crook, David Paul, *Benjamin Kidd: Portrait of a Social Darwinist*, Cambridge: Cambridge University Press, 1984.
- Ellegård, Alvar, *Darwin and the General Reader: The Reception of Darwin's Theory of Evolution in the British Periodical Press, 1859-1872*, Chicago and London: The University of Chicago Press, 1990.
- Ellis, Ieuan, *Seven Against Christ: A Study of 'Essays and Review'*, Leiden: Brill, 1980.
- Hofstadter, Richard, *Social Darwinism in American Thought*, Boston: Beacon Press, 1944.
- Lennox, Cuthbert, *The Practical Life Work of Henry Drummond*, New York: James Pott & Company, 1901.
- Lightman, Bernard, *Darwin and the Popularization of Evolution*, in *Notes and Records of the Royal Society*, 64 (2009), pp.5-24.
- , *The International Scientific Series and the Communication of Darwinism*, in *Journal of Cambridge Studies*, 5 (2010), pp.27-38.

- , *The Popularization of Evolution and Victorian Culture*, in Lightman, Bernard and Zon, Bennett (eds.), *Evolution and Victorian Culture*, Cambridge: Cambridge University Press, 2014, pp.286–311.
- , *Spencer's American Disciples: Fiske, Youmanns, and the Appropriation of the System*, in Lightman, Bernard (ed.), *Global Spencerism: The Communication and Appropriation of a British Evolutionist*, Leiden: Brill, 2015, pp.123–148.
- 松永俊男, 『ダーウィンの時代 – 科学と宗教 –』, 名古屋: 名古屋大学出版会, 1996.
- , 『ダーウィン前夜の進化論争』, 名古屋: 名古屋大学出版会, 2005.
- Moore, James R., *The Post-Darwinian Controversies: A Study of the Protestant Struggle to Come to Terms with Darwin in Great Britain and America 1870–1900*, Cambridge: Cambridge University Press, 1979.
- , *Evangelicals and Evolution: Henry Drummond, Herbert Spencer, and the Naturalisation of the Spiritual World*, in *Scottish Journal of Theology*, 38 (1985), pp.383–417.
- Mulpetre, Owen, *W. T. Stead and New Journalism*, Master Thesis, University of Teesside, 2010.
- Rasor, Eugene L., *Arthur James Balfour, 1848–1930: Historiography and Annotated Bibliography*, Westport: Greenwood Press, 1998.
- Rose, Jonathan, *Rereading the English Common Reader: A Preface to a History of Audiences*, in *Journal of the History of Ideas*, 53 (1992), pp.47–70.
- Secord, James A., *Victorian Sensation*, Chicago and London: The University of Chicago Press, 2000.
- Shea, Victor and Whitla, William (eds.), *Essays and Reviews: The 1860 Text and Its Reading*, Charlottesville: The University Press of Virginia, 2000.
- Skretkowicz, Victor (ed.), *Florence Nightingale's Notes on Nursing and Notes on Nursing for the Labouring Classes*, New York: Springer, 2010.
- Smith, George Adam, *The Life of Henry Drummond*, New York: McClure, Phillips & Co., 1901.
- Smith, Goldwin, *Guesses at the Riddle of Existence*, in Smith, Goldwin, *Guesses at the Riddle of Existence and Other Essays on Kindred Subjects*, New York: The Macmillian Company, 1897, pp.3–45.
- The Bookman* (New York), 1895–6. Available at <<<https://www.unz.org/Pub/Bookman>>>.
- ”The Labour Party and the Books that Helped to Make It,” in *Review of Reviews*, 33 (1906), pp.568–82.
- The Publishers' Weekly: American Book-Trade Journal*, 47 (1895), p.691.
- Topham, Jonathan R., *Science and Popular Education in the 1830s: The Role of the Bridgewater Treatises*, in *The British Journal for the History of Science*, 25 (1992), pp.397–430.